

# 百人一首集 4

二〇一三年二月十四日 改訂

ひやくにんいっしゆ べんきよう しかた  
百人一首の勉強の仕方

● 作文教室 言葉の森

一日に三首を、三十回ぐらい音読み、三首続けて暗唱できるように  
しましょう。かかる時間は十分ぐらいです。

続けて暗唱できる人は、一週間で九首、一か月で二十七首続けて  
暗唱できるようにしていきましょう。

言葉の意味を知りたいときは、古語辞典やウェブ古語辞典で調べま  
しょう。

ウェブ古語辞典

<http://kobun.weblio.jp/>



百人一首集は、家庭学習国語のページにあります。

<http://www.mori7.com/kg/koku/>



おもひわび 思ひわび

おもひわび さてもいのちは あるものを うきにたへぬは なみだなりけり 思ひわび(オモヒワブ 動 上二用)さて(サテ 副)も(モ 係助)命(イノチ 名)は(ハ 係助)ある(アリ 動)ラ変(体)ものを(モノヲ 接助)憂(ウシ 形)ク(体)に(ニ 格助)たへ(タフ 動)ハ下二未ぬ(ズ 助動)打(打)消(消)体(ハ 係助)涙(ナミダ 名)なり(ナリ 助動)断(断)定(定)用(ケリ 助動)詠(詠)嘆(嘆)終(終)

よのなかよ 世の中よ道こそなけれ思ひ入る山の奥にも鹿ぞ鳴くなる

よのなかよ みちこそなけれ おもひいる やまのおくにも しかぞなくなる 世の中(ヨノナカ 名)よ(ヨ 間助)①道(ミチ 名)こそ(コソ 係助)助(な)けれ(ナシ 形)ク(已)②思(オモヒ 動)入(イル 動)ラ四(体)山(ヤマ 名)の(ノ 格助)奥(オク 名)に(ニ 格助)も(モ 係助)鹿(シカ 名)ぞ(ゾ 係助)鳴(ナク 動)力(力)四(終)なる(ナリ 助動)推(推)定(定)・伝(伝)聞(聞)体(体)

ながら ながらへばまたこの頃やしのはれむ憂しと見し世ぞいまは恋しき

ながらへば またこのごろや しのばれむ うしとみしよぞ いまはこひしき ながらへ(ナガラフ 動)ハ下二未(ば)接(バ)助(助)また(マタ 副)この頃(コノゴロ 名)や(ヤ 係助)し(の)ば(シノブ 動)バ四未(レ)助(助)自(自)発(未)む(ム 助動)推(推)量(量)体(体)③憂(ウシ 形)ク(終)と(ト 格助)見(ミル 動)マ上(一)用(シ)キ(キ 助動)過(過)去(去)体(世)ヨ(ヨ 名)ぞ(ゾ 係助)い(イ)ま(マ 名)は(ハ 係助)恋(コヒシ 形)シ(ク)体(体)

よも 夜もすがらもの思ふころは明けやらで ねのひまさへつれなかりけり

よもすがら ものおもふころは あげやらで ねのひまさへつれなかりけり 夜もすがら(ヨモスガラ 副)もの思(オモフ 動)ハ四未(で)接(デ)助(助)聞(ネヤ 名)の(ノ 格助)ひ(ま)ヒ(マ 名)さ(へ)サ(ハ 副助)つ(れ)な(か)り(け)り

なげけ なげけとて月やはものを思はするかこちがほなるわが涙かな

なげけとて つきやはものを おもはする かこちがほなる わがなみだかな なげけ(ナゲク 動)力(力)四(命)と(ト 格助)て(テ 接助)月(ツキ 名)や(ヤ 係助)は(ハ 係助)もの(モノ 名)を(ヲ 格助)思(オモフ 動)ハ四未(する)ス(ス 助動)使(使)役(役)体(体)③か(こ)ち(ち)が(が)ほ(ほ)なる(なる)わ(わ)が(が)な(な)み(み)だ(だ)か(か)な

む 村雨の露もまだひぬまきの葉に霧立ちのぼる秋の夕暮

むらさめの つゆもまだひぬ まきのはに きりたちのぼる あきのゆふぐれ 村雨(ムラサメ 名)の(ノ 格助)露(ツユ 名)も(モ 係助)ま(ま)だ(だ)ひ(ひ)ぬ(ぬ)ま(ま)き(き)の(の)葉(エ)に(ニ 格助)霧(キリ 名)立(立)ち(ち)の(の)ぼ(ぼ)る(る)秋(アキ 名)の(ノ 格助)夕(ユフ)暮(グレ 名)

3 なにはえ 難波江の蘆のかりねのひとよゆゑみをつくしてや恋ひわたるべき

なにはえの あしのかりねの ひとよゆゑ みをつくしてや こひわたるべき 難波江(ナニハエ 名)の(ノ 格助)蘆(アシ 名)の(ノ 格助)かり(カ)ね(ね)の(ノ 格助)ひ(ヒト)よ(ヨ 名)ゆ(ゆ)ゑ(え)み(み)を(ヲ 格助)つ(つ)く(く)し(し)て(て)や(ヤ 係助)恋(こ)ひ(ひ)わ(わ)た(た)る(る)べ(べ)き

たま 玉の緒よ絶えなば絶えねながらへば忍ぶることの弱りもぞする

たまのをよ たえなばたえね ながらへば しのぶることの よわりもぞする 玉の緒(タマノヲ 名)よ(ヨ 間助)①絶(タ)え(え)な(な)ば(ば)接(バ)助(助)忍(しのぶ)ぶ(ぶ)る(る)こ(こ)の(の)弱(よ)り(り)も(も)ぞ(ぞ)す(す)る(る)

みせ 見せばやな雄鳥のあまの袖だにも濡れにぞ濡れし色はかはらず

みせばやな をじまのあまの そでだにも ぬれにぞぬれし いろはかはらず 見(ミ)せ(せ)ミ(ス 動)サ(下)二未(ば)接(バ)助(助)な(な)終(終)助(助)①雄(オ)鳥(ト)島(シマ 名)の(ノ 格助)あ(あ)ま(ま)の(の)袖(スデ 名)だ(だ)に(ニ 格助)濡(ヌ)れ(れ)ラ(下)二未(用)に(ニ 格助)ぞ(ぞ)濡(ヌ)れ(れ)し(し)色(いろ)は(は)か(か)は(は)ら(ら)ず(ず)助(助)打(打)消(消)終(終)



4 きりぎりす 鳴くや霜夜のさ庭に衣片敷きひとりかも寝む 後京極摂政前太政大臣 新古今集

きりぎりす なくやしもよの さむしろに ころもかたしき ひとりかもねむ きりぎりす(キリギリス名)鳴く(ナク 動カ四体)や(ヤ間助)霜夜(シモヨ名)の(ノ 格助)さ(サ 接頭)庭(ムシロ名)に(ニ 格助)衣(コロモ名)片敷き(カタシク 動カ四用)ひとり(ヒトリ名)か(カ 係助)も(モ 係助)寝(ヌ 動ナ下二未)む(ム 助動 推量 体)

わがそで は しばひにみえぬ おきのいしの ひとこそしらね かわくまもなし わ(ワ 代名)が(ガ 格助)袖(ソデ名)は(ハ 係助)潮干(シホ七名)に(ニ 格助)見え(ミユ 動)ヤ下二未)ぬ(ズ 助動)打消体)沖(オキ名)の(ノ 格助)石(イシ名)の(ノ 格助)人(ヒト名)こそ(コソ 係助)知ら(シル 動)ラ四未)ね(ズ 助動)打消已)乾(カワク 動カ四体)ま(マ名)も(モ 係助)なし(ナシ 形ク終)

よのなかは 世の中は常にもがもな渚こぐあまの小舟の綱手かなしも 鎌倉右大臣 新勅撰集

よのなかは つねにもがもな なぎさこぐ あまのをぶねの つなでかなしも 世の中(ヨノナカ名)は(ハ 係助)常(ツネ名)に(ナリ 助動)断定)用)も(モガモ 終助)な(ナ 終助)②渚(ナギサ名)こぐ(コグ 動ガ四体)あま(アマ名)の(ノ 格助)小舟(ヲブネ名)の(ノ 格助)綱手(ツナデ名)かなし(カナシ 形シク終)も(モ 終助)

5 みよ 吉野の山の秋風さ夜ふけてふるさと寒く衣うつなり 参議雅経 新古今集

みよしのの やまのあきかせ さよふけて ふるさとさむく ころもうつなり み(ミ 接頭)吉野(ヨシノ名)の(ノ 格助)山(ヤマ名)の(ノ 格助)秋風(アキカゼ名)さ(サ 接頭)夜(ヨ名)ふけ(フク 動カ下二用)て(テ 接助)ふるさと(フルサト名)寒く(サムシ 形ク用)衣(コロモ名)うつ(ウツ 動)タ四終)なり(ナリ 助動 推定 終)

おほけなく おほけなく憂き世の民におほふかなわが立つ朶にすみぞめの袖 前大僧正慈円 千載集

おほけなく うきよのたみに おほふかな わが立つそまに すみぞめのそで おほけなく(オホケナシ 形ク用)憂き世(ウキヨ名)の(ノ 格助)民(タミ名)に(ニ 格助)おほ(オホフ 動)ハ四体)かな(カナ 終助)③わ(ワ 代名)が(ガ 格助)立つ(タツ 動)タ四体)朶(ソマ名)に(ニ 格助)すみぞめ(スミゾメ名)の(ノ 格助)袖(ソデ名)

はなさ 花さそふ嵐の庭の雪ならでふりゆくものはわが身なりけり 入道前太政大臣 新勅撰集

はなさそふ あらしのにはの ゆきならで ふりゆくものは わが身なりけり 花(ハナ名)さ(サ)そ(ソ)ふ(ソフ 動)ハ四体)嵐(アラシ名)の(ノ 格助)庭(ニハ名)の(ノ 格助)雪(ユキ名)なら(ナリ 助動)断定)未)で(デ 接助)ふりゆく(フリユク 動カ四体)もの(モノ名)は(ハ 係助)わ(ワ 代名)が(ガ 格助)身(ミ名)なり(ナリ 助動)詠嘆 終)

6 こぬ 来ぬ人をまつほの浦の夕なぎに焼くや藻塩の身もこがれつつ 権中納言定家 新勅撰集

こぬひとを まつほのうらの ゆふなぎに やくやもしほの みもこがれつつ 来(ク 動カ変)未)ぬ(ズ 助動)打消体)人(ヒト名)を(ヲ 格助)まつほの浦(マツホノウラ名)の(ノ 格助)夕なぎ(ユフナギ名)に(ニ 格助)焼く(ヤク 動カ四体)や(ヤ 間助)藻塩(モシホ名)の(ノ 格助)身(ミ名)も(モ 係助)こ(コガレ 動)ツツ 接助)

かぜそよぐ 風そよぐならの小川の夕暮はみそぎぞ夏のしるしなりける 従二位家隆 新勅撰集

かぜそよぐ ならのをがはの ゆふぐれは みそぎぞなつの しるしなりける 風(カゼ名)そ(ソ)よ(ヨ)ぐ(ヨグ 動ガ四体)ならの小川(ナラノオガハ名)の(ノ 格助)夕暮(ユフグレ名)は(ハ 係助)みそぎ(ミソギ名)ぞ(ゾ 係助)夏(ナツ名)の(ノ 格助)しるし(シルシ名)なり(ナリ 助動)断定)用)ける(ケリ 助動 詠嘆 体)

ひともし 人もをし人もうらめしあぢきなく世を思ふゆゑに物思ふ身は 後鳥羽院 続後撰集

ひともし うらめし あぢきなく よをおもふゆゑに ものおもふみは 人(ヒト名)も(モ 係助)をし(ヲシ 形シク終)①人(ヒト名)も(モ 係助)うらめし(ウラメシ 形シク終)②あぢきなく(アヂキナシ 形ク用)世(ヨ名)を(ヲ 格助)思(オモフ 動)ハ四体)ゆゑ(ユエ名)に(ニ 格助)物思(モノオモフ 動)ハ四体)身(ミ名)は(ハ 係助)



ももしきや古き軒端のしのぶにもなほあまりある昔なりけり

順徳院 続後撰集

ももしきや ふるきのきばの しのぶにも なほあまりある むかしなりけり ももしき(モモシキ名)や(ヤ間助)①古き(フルシ形ク体)軒端(ノキバ名)の(ノ格助)しのぶ(シノブ動バ四体)に(ニ格助)も(モ係助)なほ(ナホ副)あまり(アマリ名)ある(アリ動ラ変体)昔(ムカシ名)なり(ナリ助動断定用)けり(ケリ助動詠嘆終)

